
■質問

データを入力する際、目的とするメニューの画面上の位置が判る、配置図を教えてください。

■回答

ASCALを初めて使う場合操作方法と同時に、メニューの位置を把握することが慣れる一方法だと考えます。その考えから次頁以降の [メニュー配置図・1~3] を作成しました。

なお、a~、1~、イ~、α~はメニューの位置を示すものです。

次に主な事項について説明します。

メインメニュー : 画面最上段に並んでいるメニューです。

ツリーメニュー : メインメニューをクリックすると下方に表示されるメニューです。

平面入力 : 層面Znをクリックして入力が始まります。

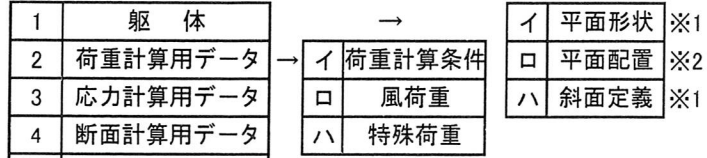
軸入力 : 通りYn(Xn)をクリックして入力が始まります。

ツリー入力 : ツリーメニューを表示させて入力が始まります。

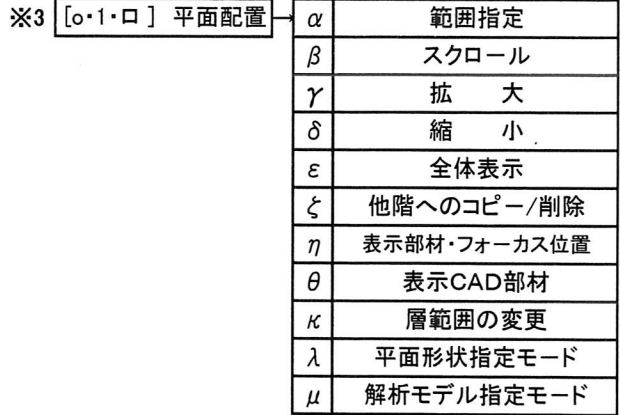
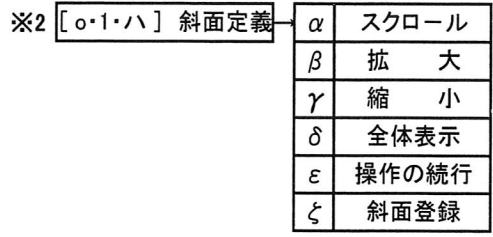
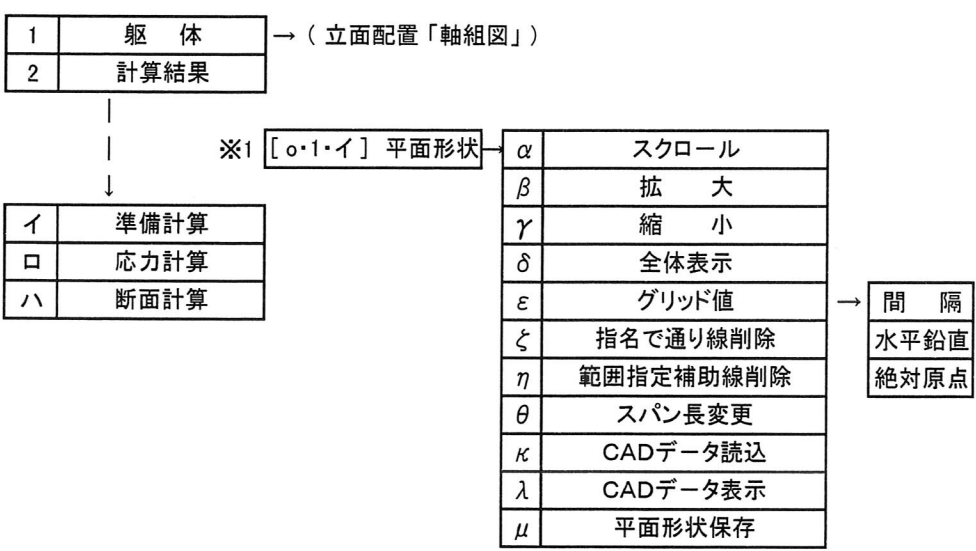
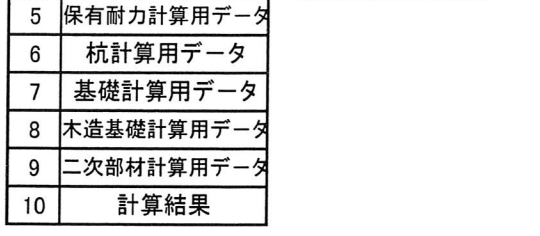
[メニュー配置図 -1]

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n
ファイル	編集	躯体	図面	図面RC/S	部材重量	計算条件	処理	計算結果	振動解析	表示	オプション	ウインドウ	ヘルプ

- ※1
- o 層 面[見上]
 - ZR
 - Z4
 - Z3
 - Z2
 - Z1



- ※2
- p 通 り[←右]
 - Y1
 - Y2
 - Y2
 - Y2
 - Y3
 - X1
 - X2
 - X3
 - X4



(注) ※1 層面Znをクリックして入力が始まる。: 「平面入力」
 ※2 通りYn(Xn)をクリックして入力が始まる。: 「軸入力」
 ※1・2・3 何も無い画面上を右クリックして入力が始まる。: 「白画面入力」
 ※1 平面形状画面の場合
 ※2 斜面定義画面の場合
 ※3 平面配置画面の場合

[メニュー配置図 -2]

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n
	ファイル	編集	躯体	図面	図面RC/S	部材重量	計算条件	処理	計算結果	振動解析	表示	オプション	ウインドウ	ヘルプ
1	新規作成	元に戻す	水平構面	図面一覧	図面配置	階別部材	◆ 共通計算条件	一括節点指定	荷重計算結果	条件	ツールバー	★下記参照	重ねて表示	物件名・構造種別
2	開く	やり直し	標準梁天端	表示金物選択	共通設定	柱	◆ 杭共通計算条件	荷重計算まで	断面検討(柱)	実行	ステータスバー		並べて表示	ライセンス登録
3	閉じる		▲ 部材	汎用テキスト入力		大梁	基礎共通計算条件	応力計算まで	▲計算書出力	出力	配置基準バー		アイコン整列	バージョン情報
4	上書保存		▲ 材料	接合部リスト出力		ブレース	木造基礎共通計算条件	断面計算まで	概要書出力	アニメ	振動コントロール			
5	名前付で保存		室用途・仕上	部材リスト出力		共通部材	◆ 階別計算条件	保有耐力計算		アニメデータ管理				
6	読み込み		3D骨組表示	文字サイズ変更		間柱	◆ 個別断面計算条件	一貫計算						
7	書き出し		3Dグラフィ表示	図面データ保存先		小梁	個別杭計算条件	杭計算						
8	印刷		数量			基礎梁	◆ 個別基礎計算条件	基礎計算						
9	印刷プレビュー		ASTIM積算			基礎小梁	個別木造基礎計算条件	木造基礎計算						
10	印刷ページ設定		水勾配斜面			床版	◆杭地盤データ・杭境界条件							
11						耐圧版	◆ 基礎地盤データ							
12						壁板	◆ 木造基礎地盤データ							
13						壁開口重量	◆ 部材計算条件							
14						独立基礎	荷重計算条件							
15						布基礎	◆ 計算書(基本データ)							
16						杭								
17						階段								
18						パラペット								
19						▲ 特殊荷重								
20														

(注) ★ 表示画面によってツリーメニューが変わる。
▲ [メニュー配置図 -3] 参照。
◆ [メニュー配置図 -4] 参照。

★ [1] 平面形状・斜面定義

↓

1	通り名表示モード
2	外部APデータ作成
3	環境設定

★ [1] 平面配置

↓

1	通り名表示モード
2	範囲指定方法
3	デフォルト配置部材変更
4	平面形状指定モード
5	斜面指定モード
6	より表示モード
7	床面表示モード切替
8	外部APデータ作成
9	環境設定

[メニュー配置図 -3]

▲ 部 材 [c・3] →

イ	階別部材
ロ	柱
ハ	大 梁
ニ	ブレース
ホ	共通部材
ヘ	間 柱
ト	小 梁
チ	基礎梁
リ	基礎小梁
ヌ	床 版
ル	耐圧版
ヲ	壁 板
ワ	壁開口
カ	壁交差部鉄筋
ヨ	独立基礎
タ	布基礎
レ	杭設定
ソ	階 段
ツ	パラペット・手摺
ネ	柱継手
ナ	梁継手
ラ	アンカーボルト
ム	木材用アンカーボルト
ウ	木 材
エ	合板パネル
ノ	単材鉄骨
オ	鉄骨仕口
ク	制振装置

▲ 特殊荷重 [f・19] →

イ	梁特殊荷重
ロ	柱特殊荷重
ハ	節点追加荷重
ニ	節点追加重量

▲ 計算書出力 [i・3] → 出力設定

イ	出力設定
ロ	用紙設定
ハ	伏図・軸組図の設定
ニ	応力図の設定
ホ	計算書追加内容
ヘ	分割・部分表示の設定
ト	変位図の設定
チ	検定値図の設定
リ	特殊荷重配置図の設定

▲ 材 料 [c・4] →

イ	コンクリート
ロ	鉄筋リスト
ハ	鉄骨材料リスト
ニ	省略時鉄骨材料
ホ	木 材
ヘ	接合金物リスト
ト	杭リスト
チ	制振要素リスト

→

場所打ちコンクリート
PHC
鋼 管
場所打ち鋼管コンクリート

[メニュー-配置図 -4]

◆ [g・1]	共通計算条件
イ	荷重条件(1)
ロ	荷重条件(2)
ハ	木造計算条件
ニ	応力計算条件
ホ	検定方法
ヘ	RC部材(X方向)
ト	RC部材(Y方向)
チ	S部材
リ	壁式部材
ヌ	木造部材
ル	壁式ラーメン部材
ヲ	保有耐力計算方法
ワ	荷重増分コントロール
カ	部材耐力式
ヨ	降伏点強度倍率
タ	必要保有耐力計算条件
レ	保証設計
ソ	S造露出柱脚計算条件

◆ [g・2]	杭共通計算条件
イ	杭基礎計算条件
ロ	荷重等計算条件

◆ [g・5]	階別計算条件
イ	構造種別
ロ	構造芯位置
ハ	層の基準位置
ニ	床面積
ホ	見付面積
ヘ	地震力(X)
ト	地震力(Y)
チ	層せん断力係数
リ	柱・壁耐力低減係数
ヌ	FesDsの直接入力
ル	柱、梁の部材群種別
ヲ	ピロティ階判別用のDs
ワ	壁の剛性低減(X)
カ	壁の剛性低減(Y)
ヨ	応力割増率(X)
タ	応力割増率(Y)
レ	部分地下の水平力
ソ	柱軸力低減係数

◆ [g・6]	個別断面計算条件
イ	RC・SRC梁計算条件
ロ	S梁計算条件
ハ	RC・SRC柱計算条件
ニ	S柱計算条件
ホ	Sブレース計算条件
ヘ	S梁拘束計算条件
ト	S柱拘束計算条件
チ	木造柱計算条件
リ	木造梁計算条件
ヌ	木造筋かい計算条件

◆ [g・8]	個別基礎計算条件
イ	直接基礎
ロ	杭基礎

◆ [g・10]	杭地盤データ・杭境界条件
イ	地盤データ
ロ	杭境界条件

◆ [g・11]	基礎地盤データ
イ	地盤データ
ロ	測定位置図データ

◆ [g・12]	木造基礎地盤データ
イ	サウンディング試験データ
ロ	測定位置図データ

◆ [g・13]	部材計算条件
イ	ブレース(鉛直荷重時の扱い)
ロ	合板パネル(床倍率)
ハ	合板パネル(壁倍率)
ニ	木材(壁倍率)
ホ	接合金物(組合せ検定)
ヘ	スラブ(応力解析での扱い)

◆ [g・14]	計算書(基本データ)
イ	工事名称
ロ	設計者
ハ	建物概要
ニ	床の固定荷重表
ホ	準拠指針